

第80回国民体育大会
青森県準備委員会

第3回競技運営専門委員会



期日：平成29年10月26日（木）

場所：ウェディングプラザアラスカ

4階 ダイヤモンド

第80回国民体育大会青森県準備委員会

第3回競技運営専門委員会資料目次

○ 会次第	P 1
○ 委員名簿	P 2
○ 審議事項	
1 第80回国民体育大会公開競技実施基本方針(案)	P 3
2 第80回国民体育大会デモンストレーションスポーツ実施基本方針(案)	P 5
3 第80回国民体育大会審判員・要資格運営員養成計画(案)の修正	P 7
○ 参考資料	
1 国民体育大会公開競技実施基準〔(公財)日本体育協会〕	P 1 1
2 国民体育大会デモンストレーションスポーツ実施基準〔(公財)日本体育協会〕	P 1 2
3 第80回国民体育大会開催基本方針	P 1 3

第80回国民体育大会青森県準備委員会
第3回競技運営専門委員会 次第

日時：平成29年10月26日（木）

13：30～14：30

場所：ウェディングプラザアラスカ

4階 ダイヤモンド

1 開会

2 挨拶

3 審議事項

(1) 第80回国民体育大会公開競技実施基本方針（案）

(2) 第80回国民体育大会デモンストレーションスポーツ実施基本方針（案）

(3) 第80回国民体育大会審判員・要資格運営員養成計画（案）の修正

4 その他

5 閉会

競技運営専門委員会 委員名簿

(順不同：敬称略)

分 野	機関・団体名及び役職名	氏 名
体育・スポーツ 関係	公益財団法人青森県体育協会 競技力向上委員長 (兼スポーツ推進審議会)	岡村 良久
	公益財団法人青森県体育協会 スポーツ振興課長 (事務局次長)	山口 哲寛
	一般財団法人青森陸上競技協会理事長(事務局長)	安田 信昭
	青森県水泳連盟 事務局長	木村 聖士
	一般社団法人青森県サッカー協会 事務局長	石原 静子
	青森県テニス協会 事務局長	渡辺 修平
	青森県バレーボール協会 事務局長	鳴海 安久
	一般財団法人青森県バスケットボール協会 事務局長	板橋 徹
	青森県柔道連盟 理事長(事務局長)	福田 昌由
学校関係	青森県中学校体育連盟 理事長	太田 尚人
	青森県高等学校体育連盟 理事長	下川原 堅藏
学識経験者	国立大学法人弘前大学大学院 医学研究科リハビリテーション医学講座 教授	津田 英一
	公立大学法人青森公立大学経営経済学部 教授	飯田 俊郎
	八戸学院大学健康医療学部 准教授 (兼スポーツ推進審議会)	高嶋 涉
県関係	教育庁スポーツ健康課 課長	相坂 譲

第 80 回国民体育大会公開競技実施基本方針（案）

第 80 回国民体育大会において実施する公開競技は、公益財団法人日本体育協会の定める国民体育大会開催基準要項及び同細則、国民体育大会公開競技実施基準並びに第 80 回国民体育大会開催基本方針に基づき、次の方針により実施する。

1 実施目的

- (1) 国体を契機として、競技の普及及びスポーツの振興を図り、生涯スポーツの実現を推進する。
- (2) 県民が多くのスポーツに触れ合う機会を増やすことにより、健康・体力の保持増進、競技力の向上が図られ、併せて多くの人達との新たな交流により地域が活性化するなど「スポーツが盛んな青森県」の実現を目指す。

2 実施競技の選択

実施競技は、第 80 回国民体育大会実施予定競技選択基本方針に基づき、次の事項について総合的に検討し、綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビックの 7 競技から選択する。

- (1) 競技を実施することにより、国体終了後においても、県内での当該競技の普及・振興が推進されること。
- (2) 当該県競技団体の組織が整備されており、競技運営能力があること。
- (3) 当該中央・県競技団体の開催意欲とともに、市町村の開催希望があること。

3 会場地市町村の選定

会場地は、第 80 回国民体育大会会場地市町村選定基本方針に基づき、次の事項について総合的に検討し、選定する。

- (1) 市町村と競技団体の意向が合致すること。
- (2) 実施する公開競技の普及・振興を推進する市町村であること。
- (3) 実施する公開競技の開催に必要な競技施設を有する市町村であること。

4 実施方法、実施時期及び期間

- (1) 実施方法及びその他の必要な事項は別に定める。
- (2) 実施時期は平成37年4月1日から閉会までの期間とする。ただし、総合開・閉会式当日は除くものとする。
- (3) 実施期間は、4日間を上限とする。

5 業務分担及び経費負担

- (1) 競技会の準備及び開催運営に係る業務は、当該中央競技団体が主導で行うものとし、その経費については、当該中央競技団体の負担とする。
- (2) 参加料、参加者旅費等、当該競技会参加に関する経費については、原則として競技会参加者の自己負担とする。

第 80 回国民体育大会デモンストレーションスポーツ実施基本方針（案）

第 80 回国民体育大会において実施するデモンストレーションスポーツ（以下「デモスポ」という。）は、公益財団法人日本体育協会の定める国民体育大会開催基準要項及び同細則、国民体育大会デモンストレーションスポーツ実施基準並びに第 80 回国民体育大会開催基本方針に基づき、次の方針により実施する。

1 実施目的

- (1) デモスポの実施により、県民の国体への参加機会をより多く設けるとともに、県内各地で地域住民がスポーツに取り組む習慣が身につく、スポーツが地域に定着する大会を目指す。
- (2) デモスポを通じて、地域スポーツの普及・推進を図り、健康・体力の保持増進及び、各地域が元気で活力に満ちた姿になることを目指す。
- (3) デモスポへの参加を通じて世代間や地域間の交流の輪を広げ活力ある地域づくりを目指す。

2 実施競技の選択

実施競技は、第 80 回国民体育大会実施予定競技選択基本方針に基づき、次の事項について総合的に検討し、選択する。

- (1) 正式競技、特別競技及び公開競技以外の競技で、公益財団法人青森県体育協会に加盟、又は推薦する競技・レクリエーションであること。
- (2) 広く県民に普及していること、又は普及する見込みがあること。
- (3) 競技団体の組織が整備されており、大会運営能力があること。
- (4) 原則として、既存施設での開催が可能であること。
- (5) 市町村及び競技団体の開催希望があること。

3 会場地市町村の選定

会場地は、第 80 回国民体育大会会場地市町村選定基本方針に基づき、次の事項について総合的に検討し、選定する。

- (1) 実施するデモスポの普及・振興を推進する市町村であること。
- (2) 実施するデモスポの開催に必要な競技施設を有する市町村であること。

4 実施方法、実施時期及び期間

- (1) 実施方法及びその他の必要な事項は別に定める。
- (2) 実施時期は、平成37年4月1日から閉会までの期間とする。ただし、総合開・閉会式当日は除くものとする。
- (3) 実施期間は原則として1日とする。

5 業務分担及び経費負担

業務分担及び経費負担は第80回国民体育大会県及び会場地市町村の業務分担・経費負担基本方針の定めるところによる。

第 80 回国民体育大会 審判員・要資格運営員養成計画（案）の修正

1 趣旨

第 80 回国民体育大会の各競技会の円滑な運営と本県及び地域スポーツの一層の普及・振興を目的に、審判員及び要資格運営員の資格取得、資格維持及び資質向上を図るため、審判員・要資格運営員養成計画を作成し、計画的かつ円滑に事業を推進する。

2 基本的事項

下記に基づいて第 80 回国民体育大会審判員・要資格運営員養成計画を作成する。

- (1) 国民体育大会各競技開催にあたる競技役員編成基準 [(公財) 日本体育協会]
- (2) 第 80 回国民体育大会競技役員等編成基本方針
- (3) 第 80 回国民体育大会競技役員等養成基本方針
- (4) 第 80 回国民体育大会競技役員等養成基本計画
- (5) 競技団体役員数の現状

3 養成目標数

審判員及び要資格運営員の養成目標数 951人 (別表〈1〉)

4 養成年次計画

各競技団体が養成年次計画を作成して養成する。(別表〈2・3〉)

5 養成方法

中央講習会等への派遣及び県内講習会の開催等により養成する。

6 その他

毎年各競技団体の養成状況を確認し、適宜計画を見直すこととする。

第80回国民体育大会 審判員・要資格運営員養成目標数

No.	内訳 競技名	競技 役員数	資格が必要な競技役員数			県外からの派遣数			県内 必要数 ⑦= ③-⑥	開催時 従事 見込数 ⑧	不足数 ⑨= ⑦-⑧	養成 目標数	養成 目標数 (修正前)
			審判員 ①	要資格 運営員 ②	計 ③= ①+②	中央 ④	近県 ⑤	計 ⑥= ④+⑤					
1	陸上競技	427	310	0	310	16	0	16	294	294	0	0	0
2	水泳	390	58	207	265	48	70	118	147	74	73	96	142
3	サッカー	427	88	33	121	63	28	91	30	7	23	30	30
4	テニス	76	60	13	73	0	0	0	73	3	70	92	92
5	ボート	120	33	34	67	17	15	32	35	34	1	2	2
6	ホッケー	91	20	14	34	30	0	30	4	0	4	6	0
7	バレーボール	249	64	0	64	4	15	19	45	26	19	26	26
8	体操	364	89	18	107	55	21	76	31	18	13	18	16
9	バスケットボール	278	101	21	122	32	35	67	55	52	3	4	4
10	レスリング	183	36	14	50	36	10	46	4	0	4	6	6
11	セーリング	220	24	85	109	31	61	92	17	2	15	21	21
12	ウエイトリフティング	116	27	0	27	3	12	15	12	5	7	10	10
13	ハンドボール	181	39	0	39	39	0	39	0	0	0	0	0
14	自転車	211	152	14	166	59	39	98	68	57	11	15	15
15	ソフトテニス	182	96	0	96	2	25	27	69	58	11	15	15
16	卓球	192	96	0	96	19	11	30	66	60	6	8	8
17	軟式野球	256	64	0	64	4	5	9	55	36	19	25	25
18	相撲	169	60	0	60	7	8	15	45	22	23	30	30
19	馬術	111	41	15	56	30	18	48	8	4	4	6	0
20	フェンシング	76	25	0	25	14	0	14	11	0	11	15	0
21	柔道	127	31	37	68	33	0	33	35	33	2	3	3
22	ソフトボール	372	80	49	129	16	24	40	89	39	50	66	66
23	バドミントン	307	212	0	212	11	10	21	191	123	68	89	89
24	弓道	148	27	29	56	1	23	24	32	32	0	0	2
25	ライフル射撃	139	28	48	76	28	48	76	0	0	0	0	0
26	剣道	113	27	0	27	27	0	27	0	0	0	0	0
27	ラグビーフットボール	117	40	0	40	3	10	13	27	11	16	21	21
28	山岳	113	23	86	109	20	4	24	98	5	93	122	112
29	カヌー	248	165	0	165	37	80	117	48	14	34	46	73
30	アーチェリー	89	31	14	45	5	29	34	11	0	11	15	15
31	空手道	188	43	0	43	33	5	38	5	1	4	6	6
32	銃剣道	99	27	38	65	14	2	16	49	1	48	63	63
33	クレー射撃	100	34	18	52	15	0	15	37	12	25	33	33
34	なぎなた	112	21	0	21	21	0	21	0	0	0	0	0
35	ボウリング	148	38	10	48	3	0	3	45	34	11	15	25
36	ゴルフ	162	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37	トライアスロン	122	84	0	84	6	35	41	43	8	35	47	47
38	高校野球	144	35	0	35	0	0	0	35	35	0	0	0
合 計		7,167	2,429	797	3,226	782	643	1,425	1,814	1,100	714	951	997

<別表2>

第80回国民体育大会 審判員・要資格運営員養成年次計画
【資格取得】

No.	内 訳 競技名	養成(資格取得)年次計画									延養成数	延養成数 (修正前)
		H29 (8年前)	H30 (7年前)	H31 (6年前)	H32 (5年前)	H33 (4年前)	H34 (3年前)	H35 (2年前)	H36 (1年前)	H37 (開催年)		
1	陸上競技	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	水泳	0	12	12	12	20	20	20	12	0	108	154
3	サッカー	3	3	4	4	5	5	5	1	0	30	30
4	テニス	0	15	19	19	19	19	18	2	0	111	111
5	ボート	0	0	0	2	2	0	0	0	0	4	4
6	ホッケー	0	0	0	2	2	0	0	0	2	6	0
7	バレーボール	3	3	6	3	6	4	7	4	0	36	36
8	体操	4	9	10	9	6	7	4	3	0	52	46
9	バスケットボール	0	0	0	2	2	2	2	0	0	8	8
10	レスリング	0	1	0	2	0	2	0	1	0	6	12
11	セーリング	0	3	3	6	9	7	3	0	0	31	31
12	ウエイトリフティング	0	0	0	2	2	2	2	2	0	10	10
13	ハンドボール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	自転車	1	0	3	4	4	3	3	0	0	18	18
15	ソフトテニス	2	2	2	2	2	2	2	1	0	15	15
16	卓球	0	4	6	2	0	0	0	0	0	12	12
17	軟式野球	0	7	5	5	5	5	0	0	0	27	27
18	相撲	5	5	5	11	11	11	6	6	0	60	60
19	馬術	0	0	2	2	0	2	0	0	0	6	0
20	フェンシング	2	2	2	2	2	2	2	1	0	15	0
21	柔道	0	1	1	2	1	1	0	0	0	6	6
22	ソフトボール	7	5	16	17	11	11	11	11	0	89	89
23	バドミントン	12	12	12	28	27	27	15	5	0	138	138
24	弓道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
25	ライフル射撃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	剣道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	ラグビーフットボール	2	2	3	3	3	3	3	2	0	21	21
28	山岳	3	3	4	40	39	20	17	0	0	126	116
29	カヌー	0	6	9	14	12	11	2	2	0	56	81
30	アーチェリー	0	0	5	5	5	0	0	3	0	18	18
31	空手道	0	1	1	1	1	1	1	0	0	6	6
32	銃剣道	20	0	12	20	0	12	23	0	0	87	87
33	クレー射撃	0	6	9	9	8	8	5	0	0	45	45
34	なぎなた	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35	ボウリング	34	3	3	3	6	3	1	0	0	53	44
36	ゴルフ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37	トライアスロン	7	7	15	9	15	7	12	0	0	72	72
38	高校野球	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		105	112	169	242	225	197	164	56	2	1,272	1,299

第80回国民体育大会 審判員・要資格運営員養成年次計画
【資格維持・資質向上】

No.	内訳 競技名	養成(資格維持・資質向上)年次計画									計	計 (修正前)
		H29 (8年前)	H30 (7年前)	H31 (6年前)	H32 (5年前)	H33 (4年前)	H34 (3年前)	H35 (2年前)	H36 (1年前)	H37 (開催年)		
1	陸上競技	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	水泳	74	74	86	98	107	124	141	158	170	1,032	1,216
3	サッカー	7	10	13	17	21	26	31	36	37	198	198
4	テニス	3	3	14	29	44	59	75	93	95	415	415
5	ボート	35	35	35	35	35	37	37	37	37	323	323
6	ホッケー	0	0	0	0	2	4	4	4	4	18	0
7	バレーボール	25	28	28	34	34	40	41	48	52	330	330
8	体操	18	17	20	23	28	29	32	33	36	236	238
9	バスケットボール	52	52	52	52	53	54	55	56	56	482	482
10	レスリング	6	5	6	4	6	4	6	5	6	48	27
11	セーリング	2	3	5	8	9	15	19	22	22	105	103
12	ウエイトリフティング	15	15	15	13	13	13	13	13	15	125	125
13	ハンドボール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	自転車	71	72	69	68	68	69	69	72	72	630	630
15	ソフトテニス	71	71	71	71	71	71	71	72	73	642	642
16	卓球	68	64	62	66	68	68	68	68	68	600	600
17	軟式野球	59	54	56	56	56	56	61	61	61	520	520
18	相撲	22	27	32	31	36	41	46	46	52	333	333
19	馬術	0	4	0	0	4	2	2	4	2	18	0
20	フェンシング	0	2	4	6	8	10	12	14	15	71	0
21	柔道	33	33	34	34	35	35	36	36	36	312	312
22	ソフトボール	82	89	83	88	94	94	94	94	105	823	823
23	バドミントン	122	135	146	142	156	167	191	207	211	1,477	1,474
24	弓道	32	32	32	32	32	32	32	32	32	288	184
25	ライフル射撃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	剣道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	ラグビーフットボール	11	13	15	18	21	24	27	30	32	191	191
28	山岳	5	8	10	13	52	90	110	127	127	542	526
29	カーヌー	10	14	20	23	32	41	52	47	56	295	514
30	アーチェリー	15	15	10	10	10	15	15	12	15	117	117
31	空手道	7	7	7	7	7	7	7	8	8	65	65
32	銃剣道	2	22	10	22	42	42	42	65	65	312	312
33	クレー射撃	12	12	15	21	28	34	40	45	45	252	252
34	なぎなた	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35	ボウリング	29	60	63	60	60	63	65	66	66	532	302
36	ゴルフ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37	トライアスロン	8	15	14	27	28	43	43	55	55	288	288
38	高校野球	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		896	991	1,027	1,108	1,260	1,409	1,537	1,666	1,726	11,620	11,542

競技の普及をはじめ、国民のスポーツ振興を図り、生涯スポーツ社会の実現に寄与するため、正式競技以外の競技を対象に、次の条件を満たす競技については、「公開競技」として実施することができる。

1. 対象競技

公開競技については、次の条件を満たした競技を対象とする。

- (1) 公益財団法人日本体育協会（以下「日体協」という。）の加盟競技団体の競技であること（準加盟は「公開競技」として実施しない）。
- (2) 当該競技団体の支部組織が、24 以上の都道府県において、当該都道府県体育(スポーツ)協会へ加盟していること。

2. 実施規模

競技施設及び参加人員の基準については当該競技における全国レベルの大会（日本選手権等）の水準・規模とする。

ただし、参加人員は600人を上限とし、当該開催県と当該競技団体が調整の上、日体協が決定する。

3. 実施時期

当該大会開催年度の4月1日以降、大会の会期内で開催することとし、当該開催県と当該競技団体が調整の上、日体協が決定する。

4. 実施について

実施を希望する当該競技団体は、次の事項について当該開催県と協議（実施の適否を含む）し、合意を得た上で、正式競技の開催に支障のない範囲で実施すること。

- (1) 競技会の会期（4日間を上限とする）
- (2) 競技会の実施内容及び方法
- (3) 競技会の準備及び運営（原則として、当該競技団体が主導的に行う）
- (4) 開催に係る経費の負担（当該競技団体の自己負担とする）

5. 実施決定の時期と申請

当該大会開催地の内定時とし、開催申請書に次の事項を記載の上、当該開催県が日体協会長及び文部科学大臣あて提出する。

- (1) 実施競技名
- (2) 会場地、会場
- (3) 参加人員
- (4) その他特に必要とする事項

6. 企業協賛

別に定める「国民体育大会公開競技における企業協賛について」（79頁）に基づき実施することができる。

7. その他

- (1) 総合表彰の積算対象競技としない。
- (2) 都道府県予選会等を実施する場合には、当該競技団体の責任の下で実施する。
- (3) 参加料、参加者旅費等、当該競技会参加に関する経費については、原則として、競技会参加者の自己負担とする。
- (4) 参加者には、大会参加記念章を与えることができる。

(附 則)

本基準は、平成20年11月12日に制定し、第70回大会より施行する。

本基準は、平成24年8月29日に改定し、第70回大会より施行する。

本基準は、平成27年12月10日に改定し、施行する。

国民体育大会デモンストレーションスポーツ実施基準

地方スポーツの振興、国民の健康増進・体力の向上等をはじめ、国民のスポーツ振興を図るために、正式競技及び公開競技以外の競技を対象に、次の条件の範囲において、生涯スポーツ社会の実現に寄与するという観点から、「デモンストレーションスポーツ」として実施することができる。

1. 実施対象

原則として、開催地都道府県体育(スポーツ)協会加盟団体の競技であること。これ以外の競技を実施する場合は、開催地都道府県の特性を生かしたもので、あるいは開催地都道府県民のスポーツ振興のため重点的に実施されているもので、いずれも当該都道府県体育(スポーツ)協会の推薦するものとする。

なお、正式競技、公開競技の開催に支障のない範囲で実施しなければならない。

2. 運営について

開催地都道府県競技団体が主管する。

3. 参加者の範囲

原則として、開催地都道府県内に居住している者とする。

4. 実施決定の時期と申請

当該大会開催地決定時とし、次の事項を記載した実施申請書を公益財団法人日本体育協会会長及び文部科学大臣あて提出する。

- (1) 実施競技名
- (2) 実施する理由
- (3) 会場地、会場
- (4) 参加人員
- (5) 参加資格
- (6) 実施方法
- (7) その他特に必要とする事項

5. 実施時期

当該大会開催年度の4月1日以降、大会の会期内で開催することとし、当該開催県と開催地都道府県競技団体が調整の上、日体協が決定する。

6. その他

- (1) 参加者には、大会参加記念章を与えることができる。
- (2) その他の事項については、国体開催基準要項及び同細則に準じる。

〈 附 則 〉

本基準は、平成20年11月12日に制定し、第70回大会より施行する。

本基準は、平成23年8月25日に改定し、第70回大会より施行する。

本基準は、平成24年12月20日に改定し、第70回大会より施行する。

本基準は、平成27年12月10日に改定し、施行する。

第80回国民体育大会開催基本方針

1 基本方針

第80回国民体育大会は、本県で48年ぶりに開催する国内最大のスポーツの祭典として、スポーツによる感動や交流の輪を広げるとともに、本県のあらゆる魅力を発信するなど、県民総参加により青森県らしさあふれる大会として開催します。

大会の開催に当たっては、創意工夫により、簡素・効率化を図るとともに、将来の県民へと引き継がれる貴重なレガシー（遺産）となるよう大会終了後も見据えた取組も推進します。

この大会の開催を契機に、県民が年間を通してスポーツに親しみ、スポーツを通じた健康づくりや生きがいづくりに取り組むことにより健康・体力の保持増進、競技力の向上が図られ、また、本県を訪れる多くの人達との新たな交流により地域が活性化するなど、「スポーツが盛んな青森県」の実現を目指します。

2 実施目標

(1) スポーツによる感動の創出と地域へのスポーツの定着

スポーツを「する」「みる」「ささえる」など多様な場面で、感動が創出されることにより、県民の誰もがスポーツに関わる楽しさを感じることができる環境が整備されるとともに、県内各地で地域住民がスポーツに取り組む習慣が身につき、スポーツが地域に定着する大会とします。

(2) 自発的、積極的な県民参加による地域の活性化

県民一人ひとりが、開催準備に自発的、積極的に参加するとともに、スポーツを通じた健康づくりなどに一丸となって取り組むことにより、全ての県民が心身ともに健康な状態で大会を迎え、その後も各地域が元気で活力に満ちた姿となる大会とします。

(3) 来県者への熱い心でのおもてなしとあらゆる魅力の発信

大会に参加する選手・監督・役員・応援者など数多くの来県者を熱いおもてなしの心で迎えるとともに、大会期間を通して本県のあらゆる魅力を体感していただくことにより、再び本県を訪問したいという気持ちを喚起する大会とします。